

茶業研究所

第1 基本方針

本県の茶業は、比較的平坦で、経営体ごとの生産規模が大きい球磨、菊池地域や、傾斜地で経営体ごとの規模が小さい上益城、鹿本、八代、芦北地域など、県全域に様々な歴史や特色をもった茶産地が分布しており、中山間地域における重要な作目となっている。茶種としては、蒸し製玉緑茶、煎茶、釜炒り茶が主に生産されており、特に蒸し製玉緑茶は全国生産量の2割以上を占め、県内を中心に、全国の主要茶種である煎茶よりも高値で流通している。また、県産茶の栽培面積及び生産量は、長期的な減少傾向にあるが、現在も全国有数の茶生産県として重要な位置を占めている。

県内茶栽培における主力品種は、近年、「さえみどり」など新たな品種への改植が進んでいるものの、依然として「やぶきた」が茶園面積の約7割を占めている。また、樹齢30年を経過した茶園が約4割を占めるなど、「やぶきた」偏重による作業の集中化、茶樹の高樹齢化による生産性の低下などが問題となっており、新たな品種の導入に加えて、販売戦略としての県オリジナル品種の開発が期待されている。

一方、需要低迷と流通状況の変化などにより、茶価は平成11年をピークに長期的な低迷状態にある。また、生産資材の価格上昇は生産者の経営を圧迫しており、生産者の減少が進むとともに、後継者不足による担い手の高齢化も進行している。

こうした状況の中、本県茶業を維持していくためには、高品質化によるくまもと茶のブランド力強化や、多様化する消費需要への対応、中山間地域での経営安定化に向けた技術開発が求められている。

第2 重要研究事項

1 県産茶の競争力向上に向けた新品種育成と生産技術の開発

県産茶の有利販売に向けた県オリジナル品種「熊本TCO1」の栽培管理技術及び品質向上技術の開発、並びに新たな品種の選抜に向けた優良系統の探索に取り組み、県産茶の競争力向上を図る。

また、多様化する消費者の嗜好に対応した新たな商品による稼げる茶業の推進を図るため、近年、国内外で需要が高まっている抹茶や機能性を高めたお茶、香りに特徴があるお茶など、付加価値を高めた新たな茶種の実産技術を開発する。

2 収益性改善に向けた茶の低コスト・生産性向上技術の開発

茶の生産に不可欠な肥料、燃油等の資材費は近年の高い水準からさらなる上昇基調にあり、また加工施設の維持費等のコストも高い水準で推移しているため、茶の価格低迷とともに茶生産者の経営を強く圧迫している。また、従来の製茶機は品質を重視した構造上、燃料の消費効率に改善の余地がある。

このため、栽培・加工の両面において、収益性や生産効率を改善できる低コスト・生産性向上に資する技術の開発を行う。

3 持続可能な中山間茶業の実現に向けた技術の開発

中山間地において、茶は重要な経済作物となっているが、作業効率が低く、また茶加工施設の老朽化等により、茶業経営の継続が困難な経営体は増加傾向にある。このため、後継者不足や担い手の高齢化が進行しており、持続可能な中山間茶業を実現できる革新的な技術の開発が必要となっている。

このため、新たな茶種であるCTC緑茶の生産による生産コスト削減技術の開発や、スマート農業技術を活用した効率的な茶園管理技術や広域生産体制を可能とする長距離輸送技術の開発を行う。

第3 試験研究課題一覧

【茶業研究所】

| 部門 | 大課題 | 中課題 | 予算 | | 小課題 | 試験期間 |
|----|---------------------------|--|-------|------|--|-------------------------|
| | | | 金額 | 区分 | | |
| 茶業 | 1. くまもとの魅力を発信できる新品種の開発・選定 | (1) 優良系統の栽培・加工適性の把握と新たな遺伝資源の探索 | 835 | 県単 | ① 優良系統の栽培・加工適性の把握 ② 次世代の県オリジナル品種の育成に向けた遺伝子資源の探索 ③ 優良系統の苗木生産技術及び幼木圃剪定技術の開発 「茶業研究所、球磨農業研究所」 | R2～R4 R2～R4 R3～R4 |
| | | (2) 茶の系統適応性検定 | 150 | 外部資金 | ① 茶系統適応性検定試験 | H29～継続 |
| | 2. 稼げる農業を目指した革新的な生産技術の開発 | (1) 茶の病虫害予察 | 農業技術課 | 令達 | ① 病虫害発生予察調査 | S40～継続 |
| | | 新規 (2) 新規及び既存製茶ラインを活用した高収益茶生産技術の開発 | 2,577 | 県単 | ① 簡易消費形態に適する高品質・低コスト緑茶生産技術の確立 ② 香り・機能性成分に着目した新たな茶生産技術の確立 組替 ③ 茶葉原料の高効率な長距離輸送技術の開発 「茶業研究所、球磨農業研究所」 | R4～R6 R4～R6 R3～R4 |

注) **新規**：本年度から新たに取り組む課題

組替：課題設定時の内容を組み替えて設定する課題

延長：課題設定時の完了予定年度を延長して設定する課題

短縮：課題設定時の完了予定年度を短縮して設定する課題